

5月31日～6月6日は禁煙週間です

妊娠中のタバコの健康リスクについて考えよう



タバコは、妊婦だけでなく赤ちゃんにも健康リスクを及ぼすとされています。
タバコに含まれる有害物質が胎児や胎盤に必要な酸素や栄養の供給が阻害され、
以下のような妊娠・出産のトラブルが指摘されています。

**周産期死亡※①のリスクが
約1.2～1.4倍！**

※①：妊娠28週以降の死産と
生後1週間未満の早期新生児死亡

**乳幼児突然死症候群
(SIDS)※②の要因の1つになる**

※②：窒息や事故と異なり、何の予兆のない
まま乳幼児が死に至る原因のわからない病気

**早産・流産の
リスクが1.5倍！**

**低出生体重児の
リスクが約2倍！**



【知っ得コラム ～ 受動喫煙と加熱式・電子タバコ～】

本人が喫煙していなくても、周囲のタバコの煙(蒸気)を吸い込んでしまうことを受動喫煙といい、**肺がん**
や**虚血性心疾患等の死亡率の上昇**、**子どもの喘息や気管支炎といった呼吸器疾患等の関連があると指摘**
されていますので、非喫煙者も注意が必要です。また、加熱式タバコや電子タバコは紙タバコより安全だ
という科学的な根拠はありませんので、**発がん性や受動喫煙のリスクはゼロではない**ことを知っておきましょう。



大切な人のために、禁煙にチャレンジ！！

☞ 禁煙治療に保険が使える医療機関はこちら ☞
<http://www.nosmoke55.jp/nicotine/clinic.html>